

124

次号
予告

薬のチェック
125号は

● 骨粗鬆症の予防と治療
ガイドライン 2025年版

● 薬害は終わっていない③
HPV ワクチン裁判

など

事務局だより

★表紙写真の採銅所駅の構内には石炭を山積みした機関車の絵がかけられていて、筑豊が石炭産業で賑わっていた時代を語りかけます。今は、無人駅となり静まり返っています。五木寛之氏の小説「青春の門」に登場する香春岳はすぐそこ。

編集後記

★ドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロス（海外で承認された新薬が日本で使えない、あるいは使えるようになるまでに時間がかかる）という用語があります。こういった薬剤の早期導入を進めようと、厚生労働省は「先駆的医薬品指定制度」や「条件付き早期承認制度」などの制度を近年積極的に整備しています★その背景には、治療がうまくいかない患者さん達からの強い要望があるのも事実ですが、医薬品の承認は利益と害とのバランスに関する評価が重要であることは論を俟たず、その評価はきちんとデザインされた臨床試験の結果をもとに厳密に行われるべきです★本誌で取り上げたアブリスボ® に関しても、害が利益を上回ることが予想されるにもかかわらず、行政は再び判断を誤り、多くの妊婦さんに公費で接種するという暴挙に出ようとしています。これまでの薬害の歴史を顧みない拙速な医薬品の承認には断固として反対の声を上げ、害を被る患者さんが出ないように粘り強く当局に働きかけることが大事だと思います。(た)

